

「間伐面白い！」

樵養成塾 (8人が作業に汗)

地域ワイド

長らが収穫方法などを説明した。熊谷さんは川岸に干されたスシアオノリを試食。「おいしい。それに色がきれいな」と感心していた。

この後、高岡郡中土佐町上ノ加江では建網漁やカニかご漁を体験。「漁師さんや農家の人の「気」を形にするのが私の仕事。地域

(井上真二)

間伐面白い！

樵養成塾 8人が作業に汗

津野町

【須崎】四万十川流域の森林を保全し森林ボランティアも養成しようとして、高岡郡津野町船戸でこのほど二日間

にわたって「四万十樵(きこり)養成塾」が開かれた。

四万十川財団の主催で五回目。これまでに約二十五人が受講。

「四万十樵塾」というボランティアグループを立ち上げ、定期的な間伐を行っている卒業生もいる。

今回は県内外から八人が参加。間伐されな

いたため山が荒れている現状やチェーンソーの使い方を学んだ後、山に入り約〇・五秒を間

伐した。作業では同塾卒業生や高知大職員らがマンツーマンで指導。「こっちから刃を入れて」「この木とあの木の間を狙って倒して」といったアドバイ

スを受けながら、真剣な表情で作業した。高知市の松本明代さん(みきは「間伐に興味があり、友人に誘われて受講した。作業前は怖さがあったが、やってみると想像以上に面白かった」。同財団の児嶋英敏事務局長は「養成塾を通して間伐に関心を持つ人が一人でも増えてくれれば」と期待していた。

(大山泰志)



指導を受けながら間伐作業を行う受講生(津野町船戸)